

音楽の授業で、郷土の芸能（三国節）を学びました！
～地元の方（ゲストティチャー）を講師に招いて～

- 期間等 12月12日（火）、14日（木）
2年全学級の音楽の授業



- 学習内容 【前回の授業】
全国の郷土の芸能について調べ学習
【今回の授業】
 - 三国祭やお囃子、三国節等の郷土芸能の伝承についてお話を聞く。
 - ゲストティチャーの三味線や笛に合わせて、三国節、三国祭囃子（待ち囃子）を太鼓で叩く。
- ゲストティチャー（2人）
 - 三国祭のお囃子や本校の郷土芸能部の指導をしてくださる方
 - 本校の支援員（笛演奏者）



【子どもたちの振り返り（抜粋）】

- ・200 年程三国節が伝承されてきたことがすごいと思いました。私たちが三国に生まれたからには、私たち若者が伝統芸能の継承に関わっていかなければならないと感じました。
- ・三国祭囃子の待ち囃子の太鼓を学んで、もっと難しいかなと思ったけれど、思ったより簡単にできて楽しかったです。私の住んでいるところでも伝統を継承していくことが課題になっているので、地元として役に立ちたいなと思いました。地域全体で協力して伝統を守っていきたいです。



1年生の音楽の教科書に「三国節」が掲載されています。

